

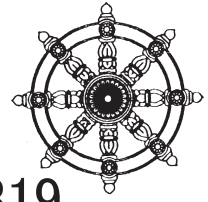
有縁の皆さんでお読み下さい

人身受け難し今すでに受く、仏法聞き難し今すでに聞く。

お念仏の 家族に なるう

毎月 25 日発行  
お寺のかわら版  
じゅんしょうじほう  
純正寺報

しょう しき しょう こう  
**青色青光** No.319



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）  
〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829  
メールアドレス：purity-temple.since1499@nifty.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

お釈迦様がお悟りを開かれた記念日

# 成道会

十二月八日（木）

十時から  
十一時半まで  
十三時半から  
十五時まで



勤行

午前 『仏説無量寿経』

午後 『仏説阿弥陀経』

法話

午前・午後共

純正寺住職

「お釈迦様のお悟り」

釋見諦さん、祝！門徒推進員

去る十一月十八日  
から二十一日まで、  
本願寺で開催された  
「第二百八十回門徒  
推進員中央教修」を、  
門徒総代の釋見諦・  
馬場康弘さんが修了  
され、純正寺門徒初  
の門徒推進員となっ  
てくださいました。  
これからの門徒活  
動に期待しています。

12月25日（日）

10:00~11:30 13:30~15:00

## 乙んき常例布施

法話：願生寺 山本 成樹 師

純正寺の法要は「YouTube」「LINE LIVE」で、生配信でも録画でもご視聴・お聴聞していただけます。

# 住職法話我聞如是

われかくのごとくきく

## 本当の朋友がいることの大切さ

「縁起」を感じつつ生きる

### 見失われた「縁起」

仏教には「縁起」という言葉があります。これは、

この世のすべてのものは因と縁のつながりによって起こっていて、何にもつながらずに単独で存在するものはないという意味です。私という存在も、私が今生きているという事実も、すべてあらゆるいのちのつながりの中で起こっている現象なのです。ですから、この縁が新たにつながったり逆に離れたりとすると、私は今の私ではなくなるのです。難しい言い方をしてしまいましたが、生まれることも成長することも老化するこ

とも死ぬことも、すべて縁起の中にあるということですから。

ところが、今私たちの暮らしを見てみると、こうした「つながりの中にある私」という考え方はあまりされないようです。「私は誰の世話にもならず生きています」とか「他人に迷惑をかけない大人になりなさい」とかいう言葉がそうです。「誰の世話にもなっていない」「誰にも迷惑をかけるいない」という考えは、縁起の道理とは違う「自己中心的」な考え方と言えます。この考えは、これまでであった地域での人のつながり(コ

ミュニティー)にも変化をもたらしています。たとえば、地域婦人会や老人会など、これまで同性や同世代の有意義なつながりに寄与していた組織が次々に解散せざるを得なくなっています。そして、今や自治会までもが脱会や解散している状態です。

### 広いが浅いつながり

このような、これまでのコミュニティが崩壊していく大きな原因のひとつは、インターネットの普及による「便利で早く快適」な生活環境にあると考えられます。私などは、今年もまだ数百枚の年賀状を作成する予定ですが、子どもの世代はもう年賀状は書きません。「LINE(ライン)」や「Twitter

(ツイッター)」や「Instagram(インスタグラム)」や「Line(ライン)」など、これまで若い世代からすれば「もうそれは古い」と言われるかもしれません。

こういったコミュニケーションツールはとにかく手軽です。今まで結構な時間がかかっていたことが一瞬でできてしまいます。そして、この便利で快適なコミュニケーションが日常化した結果、大切に丁寧な意思疎通の手段、たとえば電話でのやりとりや実際に会って話すなどのことが、重くて煩わしいものを感じるようになりまし。このような便利さや快適さは、確かに人間関係を広げはしましたが、同時に浅くもしてしまっただけではないでしょうか。

便利で快適なものが日常化し、煩わしい人間関係を避けても生きられるようになったことにより、かえって私たちの心は弱くなっています。街中の精神科や心療内科の病院は、初診だと数ヶ月待たなければならぬほど予約であふれ、心を深く病んでしまった結果社会生活ができなくなったり、自ら命を絶ってしまったり。モノの豊かさとは反比例して、心は貧しくなっています。たとえは思いませんか。ならば、今こそもう一度「縁起」を意識した生身のコミュニケーションが必要なのではないでしょうか。

### 三年ぶりの再会

先日、十七年前に本願寺

で開催された「第一六七回門徒推進員中央教修」の十五回目の同期会が開催されました。「中央教修」とは、全国各地で開催されている「門徒推進員養成連続研修会」を受講・修了された真宗門徒が、本願寺を会場に三泊四日の日程で受講される、我が宗派で最も有意義な門徒研修です。私も、今から十七年前にご一緒させていただいた研修会です。そして、これまで十四年間毎年開催されていた同期会でしたが、コロナ禍で昨年・一昨年と二年連続中止となっていました。今回、三年ぶりに開催された同期会に私も参加させていただきました。

参加者の皆さんは、この十七年間純正寺報「青色青光」をお送りしていた方ばかりでしたので、三年ぶりと言いま

してもそれほど「久しぶり」という感じはありませんでした。同期会の会場は、本願寺の近くにあり「顕道会館」。午前中、彦根で法務があつたので、集合時間に間に合わず、到着した時には参加者の皆さんがそれぞれの近況をご報告されていました。受付を済ませ、皆さんが円形になつて座られている中にある私の席に座らせていただきました。そして、目の前に見える参加者の方々の顔を見回したとたん、突然胸が締め付けられるようになり涙があふれて止まらなくなりました。

### 本当の朋友がいる

私自身、何が起こつたのかわかりませんでした。挨拶のマイクが私のところに

回ってきて、胸が詰まって声が出ません。ただ「うれしくて」と言うのが精一杯でした。参加者の皆さんは、私が急に体調不良を起したのかと心配してくださいました。でも、そうではありませんでした。私は、参加者の皆さんと再会できなかったことが、嬉しくて仕方なかったのです。こんなにもこの方たちに会いたかつたのかと、この時私自身そのことを初めて知つたのです。どんなに便利で快適な生活があるよりも、お浄土という同じいのちの行方をいただいた朋友がいることが、生きていく上で何よりも生きる力になるのだということとを、あの日本当の朋友たちが教えてくださいました。ありがとうございます。

立冬も過ぎて寒さが増してくると、ペットボトルもホット用が多くなります。今月も、六六六五個のキャップが集まりました。



サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



# 純正寺 12月の皆の宗サンガ

## みんなの食堂ビハーラ

1日(木)・15日(木)  
17:00~19:00  
年齢・性別は問いません

コロナ感染症の第8波が来てはいますが、感染対策万全に、今年最後の楽しい夕食いただきます。

## キッズサンガ「ほとけの子ども会」

3日(土)・24日(土)  
10:00~12:00  
就学前・小・中学生対象

『らいはいのうた』のお勤めの後、仏典童話の読み聞かせと楽しいおやつタイムです。

## 世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

4日(日)  
18:00~20:00  
年齢・性別は問いません

参加者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

## 釈尊が真理に目覚めた日「成道会」

8日(木)  
10:00~11:30.13:30~15:00  
年齢・性別は問いません

お釈迦さまが悟りを開かれた記念日。純正寺住職の法話「お釈迦様のお悟り」があります。

## ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

13日(火)・20日(火)  
10:20~11:30  
年齢・性別は問いません

お香とインド音楽の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかい身体と心を作りましょう。

## 「月例法話座談会」

19日(月)  
14:00~16:00  
年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

## こんき常例布教

25日(日)  
10:00~11:30.13:30~15:00  
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えて、法友ができる法座です。ご法話は京都八幡市願生寺の山本成樹師です。

## ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

26日(月)・27日(火)  
14:00~16:00  
小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。手洗い・マスクを忘れずに。

## 一年の締めくくり「除夜会」

31日(土)  
18:00~19:00  
年齢性別は問いません

今年もコロナ感染症で始終した一年でした。だからこそ、自分を見つめ過ぎ行く年に合掌しましょう。

十一月八日  
ご往生  
法名 釋 健徹  
俗名 川寿健一さん  
行年 七十九歳  
自動車整備工場を営まれた、  
一徹な人柄でした。謹んでお  
念仏申し上げます。  
南无阿彌陀佛



## 清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:45  
年齢・性別など問いません  
『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。LINE LIVE で生配信もします。

祝、帰敬式  
純正寺のご門徒の近藤しず子さん、去る十一月十二日にご本山で帰敬式を受式され、法名「釋深忍」が授与されました。真の門徒としての第一歩、誠におめでたいことです。